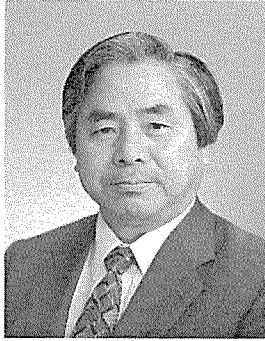


## 著作目録（渡辺俊六）

著者	東北大学史料館
号	818
発行年	2002-03
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10097/00065635">http://hdl.handle.net/10097/00065635</a>

渡辺俊六助手著作目録

平成14年3月  
東北大学史料館  
(著作目録第818号)



## 渡辺俊六助手略歴

生年月日	昭和13年11月12日
本籍地	宮城県
職名	助手
所属	東北大学多元物質科学研究所

### 学歴

昭和32年3月：熊本県立熊本高等学校卒業

昭和34年4月：九州工業大学金属工学科入学

昭和38年3月：同大学卒業

四年生の時、鉄冶金講座（沢村企好助教授）に所属し、FeS-Cu<sub>2</sub>S系硫化物の活量について研究を行う。

昭和38年4月：大阪大学大学院工学部冶金学教室修士課程に入学

鉄冶金学講座（足立彰教授）に所属し、H<sub>2</sub>-H<sub>2</sub>O-Feの平衡およびH<sub>2</sub>-H<sub>2</sub>O混合ガスと平衡するFe-Cr-O系の酸化物について研究を行う。

昭和40年3月：同大学院修士課程終了

昭和40年4月1日：東北大学選鉱製錬研究所（斎藤恒三、白石裕教授）に助手として勤務。

昭和48年2月28日：大阪大学より工学博士を授与される。

研究題目：溶融金属および合金の密度および体積膨張係数に関する研究

昭和55年10月より2年間、アメリカ合衆国シカゴ大学ジェームスフランク研究所（O. J. Kleppa教授）に留学。

平成5年4月1日：素材工学研究所（佐々木弘、梅津良昭、島田昌彦教授）に助手として勤務。

平成13年4月1日：多元物質科学研究所（島田昌彦教授）に助手として勤務。

平成14年3月：定年退職。

賞 罰：なし

## 著 作 目 録

## 論文（その一）

1. Densities and Viscosities of Iron, Cobalt and Fe-Co Alloy in Liquid State.  
S. Watanabe : Trans. Japan Inst. Metals, 12 (1971), 17.
2. Densities of Fe-Ni, Co-Ni, Co-Mo and Co-W Alloys in Liquid State.  
S. Watanabe, M. Amatatu and T. Saito : Trans. Japan Inst. Metals, 12 (1971), 337
3. 溶融Cu2元系合金の密度  
渡辺 俊六, 斎藤 恒三 : 日本金属学会誌, 35 (1971), 554.  
; Trans. Japan Inst. Metals, 13 (1972), 186.
4. 溶融純鉄の熱膨張について  
渡辺 俊六, 斎藤 恒三 : 日本金属学会誌, 36 (1972), 73.  
; Trans. Japan Inst. Metals, 14 (1973), 120. ; The British Iron & Steel Industry Translation Service, (1973), 11116.
5. 少量のアルミニウムを含む溶鉄の冷却・凝固の際に生ずる酸化物について  
渡辺 俊六, 高野 勝利, 守屋 香, 津 安英, 白石 裕 : 鉄と鋼, 65 (1979), 383 ; Trans. Iron Steel Inst. Japan, 19 (1979), 683.
6. 溶融錫, 鉛, 亜鉛の超音波伝播速度  
津 安英, 白石 裕, 高野 勝利, 渡辺 俊六 : 日本金属学会誌, 43 (1979), 439.
7. 固体および液体状態の純鉄の密度  
渡辺 俊六, 津 安英, 高野 勝利, 白石 裕 : 日本金属学会誌, 45 (1981), 242.
8. Thermochemistry of Alloys of Transition Metals : Part III. Copper-Silver, -Titanium, -Zirconium, and -Hafnium at 1373 K.  
O. J. Kleppa and S. Watanabe : Metall. Trans. B, 13B (1982), 391.
9. ENTHALPIES AND ENTROPIES OF SOLUTION OF FIRST ROW TRANSITION METALS IN LIQUID COPPER.  
O. J. Kleppa and S. Watanabe : Solid State Communications, 46 (1983), 799.
10. A thermochemical study of liquid and solid alloys  $\{(1-x) \text{La} + x\text{Ni}\}$  at 1376 K.  
S. Watanabe and O. J. Kleppa : J. Chem. Thermodynamics, 15 (1983), 633.

11. Thermochemistry of Alloys of Transition Metals : Part IV. Alloys of Copper with Scandium, Yttrium, Lanthanum, and Lutetium.  
S. Watanabe and O. J. Kleppa : Metall. Trans. B. 15B (1984), 357.
12. EXAFS STUDY ON PREMELTING AND SUPERCOOLING PHENOMENA OF GALLIUM.  
M. Hida, H. Maeda, N. Kamijo, K. Tanabe, H. Terauchi, Y. Tsu and S. Watanabe : J. Non-Crystalline Solids, 61 & 62 (1984), 415.

### 論文 (その一)

1.  $H_2-H_2O-Fe$ の平衡および $H_2-H_2O$ 混合ガスと平衡する $Fe-Cr-O$ 系の酸化物について  
足立 彰, 萩野 和己, 渡辺 俊六 : 日本金属学会1965年秋期大会 (第57回) 講演概要, p.85
2. 金属結合に関する一考察  
渡辺 俊六, 斎藤 恒三 : 日本金属学会1970年秋期大会 (第67回) 講演概要, p.171.
3. 溶融 $Cu-Sn$ 系合金の表面張力について  
渡辺 俊六, 斎藤 恒三 : 日本金属学会1972年秋期大会 (第71回) 講演概要, p.249.
4. 静滴法による銅の融点近傍の密度測定  
渡辺 俊六, 高野 勝利, 津 安英, 白石 裕 : 日本金属学会1975年秋期大会 (第77回) 講演概要, p.281.
5. 金属の融解時における体積変化について  
渡辺 俊六, 高野 勝利, 津 安英, 白石 裕 : 日本金属学会1976年秋期大会 (第79回) 講演概要, p.227.
6. 高張力鋼 (HT-50, -60, -80) の溶融状態における窒素吸収  
白石 裕, 津 安英, 渡辺 俊六, 高野 勝利, : 日本金属学会1977年秋期大会 (第81回) 講演概要, p.283,
7.  $Ni-Cu$ および $Ni-Co$ 系合金の融解による体積変化  
渡辺 俊六, 高野 勝利, 津 安英, 白石 裕 : 日本金属学会1977年秋期大会 (第81回) シンポジウム講演予稿, p.104.
8. 溶鉄にAlを添加した際に生ずる酸化物について (II)  
渡辺 俊六, 高野 勝利, 津 安英, 白石 裕 : 日本金属学会1977年秋期大会 (第81回) 講演概要, p.188,

9. 鋼塊中に生ずるクラスター状アルミナ介在物の成因について（溶鉄のAlによる脱酸機構について－I）  
渡辺 俊六, 白石 裕：鉄と鋼, 64 (1978), S145.
10. 脱酸生成酸化物のメスバウアー分光およびX線光電子分光による研究（溶鉄のAlによる脱酸機構について－II）  
渡辺 俊六, 金子 泰成, 大川 淳, 白石 裕, 杉之原幸夫：鉄と鋼, 64 (1978), S146.
11.  $\text{Fe}_3\text{P}$ のメスバウアー分光の測定  
渡辺 俊六, 大川 淳, 金子 泰成, 白石 裕：鉄と鋼, 65 (1979), S176.
12. 鉄製錬における溶媒としての鉄の挙動について  
渡辺 俊六, 金子 泰成, 大川 淳, 白石 裕：鉄と鋼, 65 (1979), S177.
13. 酸化鉄ペレットの還元反応速度におよぼす含有元素の影響について  
渡辺 俊六, 金子泰成：鉄と鋼, 65 (1979), S612.; Trans. ISIJ, 20(6), (1980), B-259.
14. 結晶中の転位の起源  
渡辺 俊六：日本金属学会1991年秋期大会（第109）講演概要, p.579.
15. 双晶の成因  
渡辺 俊六：日本金属学会1992年春期大会（第110回）講演概要, p.483.
16.  $\delta$ -Fe結晶中の転位の成因  
渡辺 俊六：日本鉄鋼協会講演論文集, 材料とプロセス, 5 (1992), 235.
17. 六方晶金属結晶中の格子欠陥の成因  
渡辺 俊六：日本鉄鋼協会講演論文集, 材料とプロセス, 5 (1992), 1790.
18. 無機物質の結晶構造  
渡辺 俊六：日本金属学会1993年春期大会（第112回）講演概要, p.271.
19. 双晶における凹入角の成因  
渡辺 俊六：日本鉄鋼協会講演論文集, 材料とプロセス, 6 (1993), 1185.
20. 溶鉄のAl脱酸の際に生成する $\text{Al}_{10}\text{-Al}_2\text{O}_3$   
渡辺 俊六：日本鉄鋼協会講演論文集, 材料とプロセス, 6 (1993), 227.
21. ひげ結晶  
渡辺 俊六：日本鉄鋼協会講演論文集, 材料とプロセス, 7 (1994), 646.

22. 対電子間の磁場による相互作用  
渡辺 俊六：日本鉄鋼協会講演論文集，材料とプロセス，14（2001），566.
23. 第一種超伝導体  
渡辺 俊六：日本鉄鋼協会講演論文集，材料とプロセス，14（2001），1222.
24. 第二種超伝導体  
渡辺 俊六：日本鉄鋼協会講演論文集，材料とプロセス，14（2001），1223.

#### 論文（その一）

1. APPLICATION OF MÖSSBAUER SPECTROSCOPY TO DEOXIDATION FROM LIQUID IRON BY ALUMINIUM.  
S. Watanabe, A. Ohkawa, Y. Kaneko and Y. Shiraishi : Journal de Physique, 40 (1979), C2-632.
2. APPLICATION OF X-RAY PHOTOELECTRON SPECTROSCOPY TO DEOXIDATION FROM MOLTEN IRON BY ALUMINIUM.  
S. Watanabe, Y. Kaneko, A. Ohkawa and Y. Shiraishi : Physico-Chimie et Siderurgie, (1979), 279. (The Proceedings of the International Conference on the Physical Chemistry of Iron and Steelmaking, Versailles, France, (1978)).
3. 凝固時および溶融状態における銅の表面張力について  
渡辺 俊六，白石 裕，斎藤 恒三：東北大学選鉱製錬研究所い報，29（1973），12.
4. 溶融Cr-N系およびMn-N系合金の密度  
津 安英，高野 勝利，渡辺 俊六，白石 裕：東北大学選鉱製錬研究所い報，34（1978），131.
5.  $MgF_2$ - $CaF_2$ 系の固体および液体のモル体積  
白石 裕，渡辺 俊六：東北大学選鉱製錬研究所い報，34（1978），1.
6. 固体および液体状態のFe-P系合金の密度  
渡辺 俊六，Abol-Hassan K. Abdel-Aziz，白石 裕：東北大学選鉱製錬研究所い報41（1985），9.
7. 溶融ガラスと固体酸化物の濡れ性  
白石 裕，深津 敦，渡辺 俊六：東北大学選鉱製錬研究所い報，46（1990），43.
8.  $SiO_2$ - $CaO$ - $Al_2O_3$ 系ガラスによるアルミナの接合  
安乗局，岡本 幸裕，渡辺 俊六，白石 裕：東北大学選鉱製錬研究所い報，47（1991），86.

## 著 書

1. Density of Liquid Metals and Alloys.  
S. Watanabe : Handbook of Physico-chemical Properties of High Temperatures,  
Iron Steel Inst. Japan, (1988), P.2~23.



